

アドミッションセンター報告書（第4号）の刊行にあたって

アドミッションセンター長 兒玉 浩明

アドミッションセンターの活動にご協力頂き、有り難うございます。皆様のご支援のお陰で、平成24年度も高大連携や入試広報等の多くの事業を進める事ができました。アドミッションセンターは入学者選抜の企画・広報・実施等の業務を行い、佐賀大学の教育研究の充実発展に寄与することを目的として、平成19年10月に発足しました。発足から5年半がたち、活動も軌道に乗りつつあります。今年度は、医学部の推薦入試、前期日程個別試験の変更および理工学部後期日程への個別試験の導入という大きな2つの改革が行われました。また、昨年度から取り組んでいます高等学校新指導要領に対応した平成27年度センター試験の数学・理科の出題科目の変更を公表しました。これらに対し、センター併任教員をはじめ、学内の多くの教職員の皆様にご協力頂きました。改めて御礼申し上げます。

本センターでは、各学部や研究科の入学試験方法等を改善するための調査・分析を行い、アドミッションセンター報告書にまとめまっています。平成24年度の第4号では、「一般入試に関する分析」、「入学者に関する分析」、「アンケート調査」、また、理工学部推薦入学者の追跡調査を行いました。今年度の新しい取り組みとしては、「高等学校（全日制・定時制課程）卒業者に関する分析」、「九州における18歳人口の変化と予想」、「留年者に関する分析」を行いました。「高等学校（全日制・定時制課程）卒業者に関する分析」では、学校基本調査をもとに、高等学校の全日制及び定時制課程の卒業者に関して、大学等進学率と就職率に分けて、過去11年間の推移および地域別の特徴について分析しました。その結果、佐賀近隣の地域的な特徴を把握することができました。「九州における18歳人口の変化と予想」では、1955年から2010年に調査された国勢調査の結果を用いて、18歳人口を九州の各県別に分析し、今後の人口動向を把握するための資料を作成しました。更に、今年度の「佐賀県教員による高大接続に関する研修会」では、本学の理工学部と農学部の先生方にご協力頂き、『理系学部生に必要な「コミュニケーション能力」と「語学力」に関する調査』を実施しました。こうした情報は、アドミッションポリシー等を定めるための1つの参考資料となり得るようです。

平成24年度は、新しい取り組みとして、学生の企画による高大連携活動を支援しました。オープンキャンパスでは、キャンパスツアーを企画・実施しました。また、新しい高大連携セミナーの取り組みの1つとして、ワールドカフェ形式で大学生と高校生が将来を語る「とことん語る場イ@佐大～明日の自分・未来の自分」が行われました。

平成25年度は組織の見直しを行い、新しいアドミッションセンターとして活動を開始しました。新たな入試改革や広報活動に取り組み、本学の教育研究の発展の一助になれるよう努力して参ります。一層のご支援、ご助言を頂きます様、お願い致します。

【目次】

アドミッションセンター報告書（第4号）の刊行にあたって	1
1 平成24年度一般入試に関する分析	5
1.1. 全体的な傾向	5
1.2. 学部別志願倍率の推移	6
1.3. 学部別にみる志願状況の特徴	6
1.4. 九州・山口地区における学部系統別にみる他大学の志願倍率	7
1.5. 地域別にみる志願者の動向（学部別）	8
1.6. 平成24年度センター試験における「地歴・公民」「理科」の科目選択実績	14
2. 佐賀大学の入学者に関する分析	21
2.1. 出身地域別にみる入学者（学部別）	21
2.2. 出身地域別にみる入学者（平成以降の変化）	22
3. 高等学校（全日制・定時制課程）卒業者に関する分析	23
3.1. 大学等進学率	23
3.2. 就職率	25
4. 九州における18歳人口の変化と予想（1955年～2028年）	27
5. 留年者に関する分析	29
5.1. 学科・課程別の留年率の割合	30
5.2. 性別にみる留年率の割合	31
5.3. 入試種別にみる留年率の割合	32
5.4. 志望別にみる留年率の割合	33
5.5. 出身地域別にみる留年率の割合	34
6. 理工学部推薦入学者の追跡調査	35
6.1. 知能情報システム学科	36
6.2. 機能物質化学科	37
6.3. 機械システム工学科	42
6.4. 電気電子工学科	43
6.5. 都市工学科	45
7. 平成24年度学部新入生アンケートの分析	50
7.1. 調査概要	50
7.2. 通学環境に関する分析	51
7.2.1. 学部および性別にみる居住地の実態	52
7.2.2. 学部および性別にみる通学手段	53
7.2.3. 通学環境（通学時間やアクセス面）に関する満足度	54
7.3. 受験生が考える受験大学の地域的範囲（九州出身者のみ）	56
7.4. 佐賀大学受験決定の時期	60
7.5. 入学者の意識に関する分析	62
7.5.1. 入学直後の気持ち	62
7.5.2. 大学生活において何を期待するか	65
7.5.3. キャリア意識に関する分析	66
7.5.4. 学部・学科等の入学者受入の方針に対する認識	71
7.6. 広報活動に関する分析	72
7.6.1. 入学前までに佐賀大学について知っていたもの	72
7.6.2. 受験する上で関心を寄せた情報源	72

7.6.3.	佐賀大学を知る上で興味や関心のある情報	73
7.6.4.	佐賀大学を受験する上で影響を与えたもの	76
7.6.5.	入試広報（各種説明会）に関する分析	79
7.7.	オープンキャンパスに関する分析	81
7.7.1.	佐賀大学オープンキャンパスへの参加状況	81
7.7.2.	佐賀大学オープンキャンパスに対する評価	82
7.7.3.	佐賀大学以外の OC 参加大学	84
7.8.	ジョイントセミナー（出張講義）に関する分析	85
7.9.	経済支援（奨学金、授業料免除）に関する分析	87
8.	平成 24 年オープンキャンパス参加者アンケートの分析	88
8.1.	平成 24 年度オープンキャンパス参加者数	88
8.2.	アンケートの回答者	89
8.3.	どのような交通手段を利用して参加したのか	92
8.4.	誰とオープンキャンパスに参加しているのか	92
8.5.	高校におけるオープンキャンパスへの参加指導（佐賀大学以外の OC も含む）	93
8.6.	佐賀大学のオープンキャンパスを知ったきっかけ【複数回答】	94
8.7.	オープンキャンパスの参加目的（3 つまで選択可能）	95
8.8.	佐賀大学オープンキャンパスに対する感想	96
8.9.	「動くポスター展」および「キネクトによる体感型動画コーナー」の評価	98
8.10.	今後のオープンキャンパス改善に向けて	101
8.11.	キャンパスツアーの企画・実施	107
8.12.	佐賀大学に対する進路意識	112
8.13.	最近の佐賀大学の取り組みに関して知っているもの	115
9.	ジョイントセミナー受講者アンケートに関する分析	116
9.1.	参加者の属性	116
9.2.	セミナー受講前の認識	116
9.3.	受講者の進路意識	117
9.4.	セミナー受講後の感想	119
9.5.	佐賀大学に対する関心の変化（受講前と受講後）	120
9.6.	実施校における高校教諭からの感想	124
10.	在学生企画による高大連携活動の取組	131
10.1.	参加者のアンケート分析	132
10.2.	学生作成の報告書	137
11.	理系学部生に必要な「コミュニケーション能力」と「語学力」	143
12.	『大学入試研究ジャーナル』掲載論文	144
13.	センター専任教員個人業績（平成 24 年度）	145
14.	アドミッションセンター業務実績	149
14.1.	入学者選抜に関する企画および実施	149
14.2.	入試広報に関する企画および実施	150
14.3.	入学者選抜に係る調査研究	159
14.4.	学内外での情報発信	159
14.5.	平成 24 年度のアドミッションセンター運営委員会と専門委員会	160
14.5.1.	アドミッションセンター運営委員会	160
14.5.2.	入学者選抜方法等専門委員会	162
14.5.3.	広報専門委員会	162
15.	平成 24 年度アドミッションセンター名簿	163
16.	アドミッションセンター自己点検評価書	164